記者発表資料

平成２１年３月２日
東北地方整備局

入札監視委員会第一部会第４回定例会議（２月１９日）の審議概要について

～抽出案件１１件を審議、意見の具申又は勧告はなし～

平成２０年度東北地方整備局入札監視委員会第一部会第４回定例会議が、２月１９日（木）に仙台市の東北地方整備局で開催されました。

定例報告では、平成２０年度第３四半期分を対象とした事案（①工事、コンサルタント業務、役務の提供等・物品の製造等の総契約件数、②指名停止措置、③一位不動状況、④低入札状況、⑤特命随意契約）の報告を行いました。また、発注者支援等業務の発注取りやめについて説明しました。

さらに今回は、国土交通本省の公正入札調査会議において了承された「談合疑義事実の選定基準」について、整備局としての選定基準を策定するための審議を行いました。

なお、議事では、委員により抽出された案件１１件の審議が行われ、委員からの意見の具申又は勧告事項はありませんでした。

○　審議概要は別紙のとおりです。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局
仙台市青葉区二日町９番１５号　TEL (022)225-2171（代表）

主任監査官　畠山（はたけやま）　盛雄（もりお）（内線２１１４）
入札契約監査官　松舘（まつだて）　弘（ひろし）（内線２２２０）
契約管理官　熊谷（くまがい）　伊佐男（いさお）（内線２２２２）
技術開発調整官　村上（むらかみ）　和夫（かずお）（内線３１２０）

東北地方整備局　入札監視委員会（第一部会）　審議概要

開催日及び場所		平成２１年２月１９日（木）　東北地方整備局　大会議室	
委員		部会長　遠藤　孝夫（東北学院大学工学部環境建設工学科教授） 部会長代理　内田　貴和（公認会計士・税理士） 委員　佐藤　英世（東北学院大学法科大学院法務研究科教授） 委員　宮原　育子（宮城大学事業構想学部事業計画学科教授）	
審議対象期間		平成２０年１０月１日　～　平成２０年１２月３１日	
総抽出案件		総件数　１１件	
工事	抽出案件	６件	
	一般競争（ＷＴＯ対象）	２件	
	一般競争（ＷＴＯ対象外）	２件	
	工事希望型競争	０件	
	通常指名競争（一般土木）	０件	
	通常指名競争（その他）	１件	
	随意契約	１件	
建設コンサルタント業務等		４件	
役務の提供等及び物品の製造等		１件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等		別添のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容		特になし	

抽出案件　工事　概要書

	工　事　名	入札・契約方式	工 事 場 所	上段：契約金額 （単位：千円） 下段：入札経緯	応　募 業者数	参　加 （指名） 業者数
1	津軽ダム本体建設（第１期）工事	一般競争 （ＷＴＯ対象）	青森県中津軽郡西目屋大字藤川、居森平地内	13,038,900 １回落札	６社	５社
2	胆沢ダム取水設備新設工事	一般競争 （ＷＴＯ対象）	岩手県奥州市胆沢区若柳地内	2,940,000 １回落札	４社	４社
3	管内道路監視設備設置工事	一般競争 （ＷＴＯ対象外）	秋田県仙北市田沢湖生保内字武蔵野地内　外	49,350 １回落札	１社	１社
4	一般国道４９号　草木橋上部工工事	一般競争 （ＷＴＯ対象外）	福島県いわき市平上荒川地内	341,040 １回落札	１７社	１６社
5	大曲裁判所（０８）建築その他改修工事	指名競争	秋田県大仙市大曲日の出町１－２０－４	146,454 １回落札	－	１２社
6	胆沢ダム堤体盛立（第２期）工事	随意契約	岩手県奥州市胆沢区若柳地内	15,435,000 －	－	１社

抽出案件　建設コンサルタント等　概要書

	業　務　名	入札・契約方式	履　行　場　所	上段：契約金額 （単位：千円） 下段：入札経緯	応　募 業者数	参 加 （指名） 業者数
7	新技術活用調査評価検討業務	簡易公募型 ﾌﾟﾛﾎﾟｰｻﾞﾙ方式	東北技術事務所	28,245 －	１社	１社
8	広域連携推進検討業務	標準 ﾌﾟﾛﾎﾟｰｻﾞﾙ方式	東北管内	18,795 －	３社	１社
9	高瀬川舟ヶ沢陸閘設計業務	指名競争	青森県上北郡東北町舟ヶ沢地内	6,185 １回落札	－	１０社
10	公園台帳整備業務	指名競争	宮城県柴田郡川崎町大字川内地内	5,487 １回落札	－	１０社

抽出案件　役務の提供等・物品の製造等　概要書

	業　務　名	入札・契約方式	履　行　場　所	上段：契約金額 （単位：千円） 下段：入札経緯	応　募 業者数	参 加 （指名） 業者数
11	ディジタル端局装置製造（北上川ダム局外）	一般競争 （ＷＴＯ対象）	岩手県盛岡市下厨川字四十四田１　北上川ﾀﾞﾑ統合管理事務所　外	138,600 １回落札	１社	１社

東北地方整備局入札監視委員会
別添　　（第一部会第４回定例会議）審議概要

	質　問　等	回　答
	［指名停止関係］ 質問、意見なし	
	［再度入札における一位不動状況］ 質問、意見なし	
	［低入札価格調査制度調査対象工事］ 質問、意見なし	
	［所管公益法人等との特命随意契約］ 所管公益法人と契約締結した理由は、公益法人が知的財産権を所有しているためとのことだが、そもそも特定情報を持つことを前提に公益法人として設立されているのか。 公益法人との随意契約については、今後見直しされていくのか。	公益法人の設立当初から所有しているものではなく、その設立後において事業を行いながら蓄えた情報です。 見直しは、平成１８年度から実施しており、今回報告案件の平成２１年度の対応については、現在本省で検討中です。
	［発注者支援等業務の発注取りやめ］ 質問、意見なし	
1	［抽出事案についての審議］ 一般競争方式（ＷＴＯ対象） ［津軽ダム本体建設（第１期）工事］ 指名停止のため参加資格無しとされている業者があるが、どういうことか。 津軽ダムには既設ダムがあるが、工事期間中でも既設ダムの機能は継続されるのか。 落札率が約７０％と低くなった理由は何か。	競争参加資格で定めている申請書提出期限（平成２０年１月２５日が該当）と開札日（平成２０年８月２６日が該当）までの間に、北海道開発局発注工事に係る競売入札妨害により、指名停止となったためです。 新しいダムが完成するまで、既設ダムの機能は継続します。 あくまでも推測ですが、大規模工事案件でもあり、応札業者の受注意欲の結果かと思われます。

東北地方整備局入札監視委員会
別添　（第一部会第４回定例会議）審議概要

	質　問　等	回　答
	既設ダムを再開発するという理由は何か。既設ダムの能力不足なのか。ダム建設計画における当初予測が違っていたためか。 津軽ダムの目的として「河川環境の保全」があるが、具体的にはどういうことか。	岩木川水系には複数のダムが必要であるとされていたが、新しいダムを造るよりも目屋ダム再開発がより効率的という判断がなされたものです。 河川の水が枯れることのないよう、一定量の水が常に河川を流れるようにすることです。
2	一般競争方式（ＷＴＯ対象） ［胆沢ダム取水設備新設工事］ 今回の総合評価における加算点の技術提案評価項目は、一般的な項目か。	今回の技術提案加算点の評価項目は、入札公告に記載している４項目があります。今回設置する円形多段式ゲートを対象とした項目と、取水設備の一般的な項目とに区分しています。
3	一般競争方式（ＷＴＯ対象外） ［管内道路監視設備設置工事］ 工事内容に、道路監視設備を３箇所に設置することとあるが、全体として何箇所に設置するのか。 応札者が限定される要件は無いと思うが、いつも１者応札なのか。なぜ、少ないのか。 電子入札システムによる入札に参加する業者は、開札前に入札参加業者数を知り得るのか。	７８基の設置を予定しており、今年度までに６９基を設置し、後２年程で完了させる予定です。 応札者数は多い時は７者、ここ数年は１～２者です。推測ですが、道路監視設備全体がネットワーク化しているので、そのシステムへの接続実績のある会社が有利となるのかもしれません。ただ、必ずしもネットワークを整備した業者が受注しているわけでもありません。 入札に参加する業者間では、一切知り得ないシステムとなっています。
4	一般競争方式（ＷＴＯ対象外） ［一般国道４９号　草木橋上部工工事］ 隣接する供用中の橋の施工業者は、今回と同じ業者か。 ダム工事と同様に、継続施工ということはあるのか。 評価項目の「企業の信頼性、社会性」とは具体には何か。また、参加業者はその評価項目及び評価基準についての内容を知っているのか。	今回の受注業者とは別の業者です。 橋梁自体が分離しており、そういう事はありません。 企業の手持ち工事量、地理的条件、建設業退職金共済制度への加入状況、地域貢献実績、等であります。これらの内容と評価基準は、入札

東北地方整備局入札監視委員会
別添　（第一部会第４回定例会議）審議概要

	質　問　等	回　答
		説明書に記載されていますので、参加業者の方は知っています。また、評価項目・配点は、本局において統一的な運用を定めています。
5	指名競争方式 ［大曲裁判所（０８）建築その他改修工事］ 当初実施した一般競争が不落となった経過を説明してほしい。 当初の一般競争に参加した５者について、今回の指名競争に参加した業者は何者か。今回、落札した業者はどうか。 無効となった業者がいるが、その内容について説明してほしい。 その調査結果に問題が無ければ、その入札業者が落札するのか。	 一般競争は９月５日に公告し、５者が入札に参加しています。１回目の入札において予定価格との開差が大きいことから、工事内容等の説明を行い、再度入札を行いましたが不落となり契約締結に至りませんでした。 一般競争に参加し今回の指名競争においても参加した業者は３者であり、今回落札した業者も当初の一般競争にも参加しています。 低入札のため、特別重点調査に該当し、応札額に基づく積算内訳書及びその根拠資料等を提出させ調査を行った結果、工事の品質確保や施工体制等について充分に説明できる資料の提出がなされなかったため、入札を無効としています。 そのとおりです。
6	随意契約方式 ［胆沢ダム堤体盛立（第２期）工事］ 胆沢ダムも既設のダム機能は工事期間中継続するのか。また、河川環境の保全の目的があるのか。 胆沢ダムが完成すると、上流の石淵ダムはそのまま水没させるのか。 ダム周辺にある文化財等はどうなるのか。	 津軽ダムと同様に既設のダム機能は継続していますし、河川環境の保全の目的もあります。 胆沢ダム完成後に石淵ダムは水没しますが、新しいダム湖の水位が下がった時、高さの関係から石淵ダムが新ダムへの流入を阻害しないよう切り下げるような工事は行います。また、石淵ダムのゲート等の金属部分は撤去します。 水没する文化財等は、移転等の補償を行っています。

東北地方整備局入札監視委員会

別添　　（第一部会第４回定例会議）審議概要

	質　問　等	回　答
7	簡易公募型プロポーザル方式 ［新技術活用調査評価検討業務］ 業者の選定過程において、技術資料提出可能業者が１０者となっているが､どういう会社か。 過去においては随意契約か。 その１０者は今回の業務内容の実績があるのか。実際には１者であり、今後も１者だけとなるのではないか。	 コンサルタント会社が８者、公益法人が２者です。 平成１８年度までは随意契約です。 結果的には参加者が１者となっていますが、競争性を高められるよう参加要件を幅広く設定した結果、１０者が提出可能業者と判断しました。本件のような業務は、随意契約から競争契約への過渡的な時期でもあるため、今後もより競争性を高められるよう工夫していきたいと思います。
8	標準プロポーザル方式 ［広域連携推進検討業務］ 対象業者の評価におけるマイナス評価とは具体に何か。 具体的な調査内容とその成果品の内容を教えてほしい。 来年度以降も行うのか。 各自治体がそれぞれ検討するべき内容と思われるが、国土交通省が調査を進めていることの意義は何か。	 独占禁止法の規定に違反し指名停止を受けており、東北地整の運用として指名停止期間終了後の３ヶ月間をマイナス評価としています。 「東北圏全域」と「モデル地域」の検討を業務内容としています。十和田・三沢地域の「モデル地域」については市町村アンケート等を実施し、必要とされる連携のメニューを作り、その内容を「東北圏全域」へフィードバックしてまとめていく考えです。 予算状況にもよりますが、平成２１年度はフォローアップをしていきたいと考えています。 今後の中小都市のあり方について、国土交通省と関係地方公共団体が一体となって検討を行っているもので、各自治体の自立性を尊重しつつ国が地域づくりの観点から支援を行っているものです。
9	指名競争方式 ［高瀬川舟ヶ沢陸閘設計業務］ 落札率が６５％と低いのはなぜか。	 推測ですが、落札した業者は、樋門樋管の実績が多いことから、効率的な業務実施が可能なためと思われます。

東北地方整備局入札監視委員会

別添　　（第一部会第４回定例会議）審議概要

	質　問　等	回　答
	今回の業務についても、業務成績を評価するのか。	業務完了後、その成果品等について成績を評定します。
10	指名競争方式 ［公園台帳整備業務］ 入札までの間に、予定価格を知り得る職員は誰か。 予定価格の算出を行う職員は誰か。	 事務所においては、事務所長のみです。 予定価格の前段階までの積算作業は、積算担当課の職員です。
11	一般競争（ＷＴＯ対象） ［ディジタル端局装置製造（北上川ダム局外）］ １者のみの応札だが､製造自体が難しいのか。また､同様の案件での応札の実態はどうなのか。	 需要が多い機器では無いが、通常の組み立てラインを有している業者であれば製造は可能と考えています。昨年度の類似案件でも1者応札となっていますが、他業者でした。
	［談合疑義事実の選定基準の策定］ 異議無し。	

総括	本日の審議結果について、意見の具申又は勧告事項は、特にありません。	